

2024 年度 パレット保育園・高田 事業報告書

●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉かけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

●保育の方針

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2. “個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3. 自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4. 縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5. 自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

1. 中期事業計画のテーマ

- 経営の安定化
- 選ばれる保育園づくり

2. 園目標 ～中期事業計画のテーマを踏まえた～

- ・園児、保護者、職員にとって明るく楽しい保育園づくり
- ・保育の質の向上

3. 原因分析

達成または未達成の原因および次年度への課題
<ul style="list-style-type: none">・日々の業務、行事計画など職員の主体的に行うことで楽しく達成感を感じることができた。・園外（未就園児や近隣地域など）への積極的な提供は課題も残ったので、次年度も引き続き行っていきたい。

4. 開所日及び開所時間

事業	開所時間
平日	7:00-20:00
土曜日	7:00-18:00
休園日	日・祝日・12/29～1/3

5. 定員数

・利用定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	9	10	11	12	12	60

・入所児童数

3月31日時点

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	12	12	14	12	14	70

6. 年間行事実施日

月	行事等の名称	対象者
5月11日	親子レクリエーション	園児とその保護者
6月8日	個人面談	園児とその保護者
7月6日	夏祭り	園児とその保護者
10月18日	運動会	園児とその保護者
1月11日	個人面談	園児とその保護者

1月14・21・ 28日	パレット学習タイム参観	園児とその保護者
2月日	発表会	園児とその保護者
3月日	卒園式	卒園児とその保護者
3月日	入園説明会	新入園児とその保護者
3月日	進級説明会	進級園児とその保護者

7. SDGs に係る取り組み結果

	<p>●質の高い保育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の内容はスタッフ自ら意見を出し合い計画することが出来た。 ・昨年の課題がそのままにならないよう改善できた部分と更に課題に対しての改善点も見つかった。 ・自クラスだけでなく周りのクラス運営にも目が向くように更に工夫が必要。 <p>●気になる子支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による定期的な巡回は継続して行えているが園で出来る工夫の実践には課題が残った。 ・通所療育（児発）との情報共有はなかなかできない施設もあり話し合いの機会が持てるようにしたい。 ・保護者への支援、保護者面談は必要に応じて行うことが出来た。就学前には丁寧な対応が必要と感じた。 <p>●質の高い給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長クラスではほぼ毎日バイキング給食の実施ができ、それによって子どもたちの食への興味、意欲が圧倒的に増えたのを実感できた。 <p>●能力開発プログラムの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年を通し実施することができた。実施する際の導入やねらいも意識できるようになると更によいと感じた。
	<p>●充実した休暇制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望に沿った休暇の取得は実施できたが、取得数に偏りが出てしまうことは次年度の課題になった。
	<p>●働き方向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事などの業務負担が偏らないように進捗を確認し、大変な所はサポートするなど工夫をしたがまだ改善余地はあるので次年度も工夫していきたい。 <p>●充実した年間研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修は早めの受講を目指した。それ以外の研修は園内研修として実施することができた。次年度は受講した内容を研修者として発表、実施できるようにしていきたい。 <p>●キャリアパスの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性に向けた育成計画を実施することができた。今後も目指す専門性を学べる機会を作っていきたい。
	<p>●地域交流 pj</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児対象のイベントは前半月 1 回のペースで開催することができた。様々な園体験をすることで入園に繋げることができたと感じた。後半実施はできなかったので次年度は年間を通して担当を決め実施していきたい。 <p>●虐待防止、貧困対策への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の保健師などと定期的に情報共有し、保護者支援をすることができた。
	<p>●食品ロスの低減</p> <p>●設備チェック・整備による使用寿命延長</p>

8. 保護者との連携の報告

- ・ コドモンによる家庭との日々の連絡をおこなった
- ・ 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告した
- ・ 懇談会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの結果や育ちを報告した
送迎時はこちらから挨拶し声をかけることを職員で共有実行することができた
子どもの様子やその日のできごとなど小さなエピソードを交えて伝えるよう工夫した
送迎時になかなか顔を合わせることができない保護者に対しては、連絡帳を使って共有した

9. 第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- ・ 5年に1回、第三者評価を受審
- ・ 姉妹園施設長による環境整備チェックを実施（嘔吐処理セットの中身が不足していたことがあったので、使用したら補充をするルールの徹底）
- ・ 今年度は第三者評価を受審。保育内容に対しては高い評価をもらったが、職員の経営に関する関心が薄いと感じたので引き続き取り組んでいきたい

10. セルフモニタリングの実施報告

- ・ 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告を都度おこなった
- ・ 職員会議や昼礼で、共有した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、研修をおこなった

11. 苦情対応・解決の取組

- ・ 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った
- ・ 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示した
- ・ 第三者委員の連絡先を掲示した
- ・ 送迎時園周辺に車を停車することで近隣から苦情は数回あった。その際は速やかに対応し、また保護者に協力の依頼配信をするなどした

12. 職員の研修

- ・ 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した
- ・ 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加した
- ・ 姉妹園での保育士の交換保育・視察研修をおこなった
- ・ 給食、事務スタッフは年2回の全体研修を実施した
- ・ キャリアアップ研修は受講当選しにくいので、早めに予定をたてて受講した

13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- ・ 就業規則、賃金規程、36、32、24協定を制定し、労働基準監督署へ届け出た
- ・ 育児休暇、介護休暇について制定
- ・ 退職金規程を制定
- ・ 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置
- ・ 定時に業務が終わりそうにない場合は事前に相談する、保育を抜けて時間を作るなど協力することができたが、業務の優先順位や教務効率など課題はあるので、次年度も工夫していきたい

14. 児童・職員の健康管理

- ・ 園児の健診については年に2回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した
- ・ 職員の健康診断は4月、5月、6月に順次受診（人間ドック希望者は個々受診）した
- ・ 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認した
- ・ 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努めた
- ・ 園内で発生した場合は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明した

15. 安全安心に対する取組

(1) 事故の防止策と対応策

- ・ 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- ・ 怪我が起きた際は小さな怪我であっても時間経過と共に症状が悪化することもあるので、その後の症状を小まめに注視した

(2) 不審者対策

- ・ 不審者対策を目的とした避難訓練を年に1回以上実施した
- ・ 不審者対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

(3) 防火・防災対策

- ・ 毎月避難訓練および消火訓練を実施した
- ・ 消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に2度実施した
- ・ 危機管理マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- ・ 消防署に依頼し幼児対象に防災教室を行った
- ・ 避難訓練時、通報訓練を消防署と共に行った
- ・ 保護者参加の引き取り訓練を行った

16. 虐待防止の取組

- ・ 児童虐待対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有した
- ・ 要保護家庭への支援は、定期的に区の担当と情報共有をし継続見守りを行った

17. 給食に対する取組

- ・ 給食マニュアルにて研修を実施した
- ・ 物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上に努めた
- ・ 年に2回全体研修をおこない、スキルアップを図った
- ・ 年長は一年を通してバイキング形式で、食への興味関心を高めることができた

●今年度は苦情対応がありませんでした。